

マイナ保険証と「医療DX」を考える院内集会

■日時 2025年4月24日（木）14時～16時

■会場 参議院議員会館 102 会議室

東京メトロ有楽町線・半蔵門線・南北線「永田町駅」1番出口徒歩1分

東京メトロ丸の内線・千代田線「国会議事堂前駅」議員会館地下通路一般出口徒歩6分

東京メトロ銀座線・南北線「溜池山王駅」5番出口徒歩12分



◆13時30分から ロビーで通行証を配布
します。遅れた方は議員会館受付から
102 会議室に電話してもらってください

発言

「マイナ保険証の現状と医療法改正案」

共通番号いらないネット

「医療現場から見た情報共有化の問題点」

吉田 章さん（東京保険医協会）

主催 共通番号いらないネット

（共通番号・カードの廃止をめざす市民連絡会）

<http://www.bango-iranai.net/>

*連絡先 宮崎（Tel:080-5052-0270）



2024年12月2日、健康保険証の交付が終了し「マイナ保険証を基本とする仕組み」に移行したとされています。しかしその後もマイナ保険証の利用率は、25%程度に低迷しています。

政府は世論の反対を押し切っても健康保険証を廃止する理由を「マイナ保険証は医療DXのパスポートとしてより良い医療を可能にするもので、このメリットを早期に最大限発揮するため」と説明しています。しかし医療DXのめざす医療・健康・介護情報の共有と利活用には、不安を感じる市民は少なくありません。

今国会に政府が提出した医療法改正案では、医療DXを推進するため、電子カルテ情報を患者の同意なく医療機関からマイナ保険証を運用する支払基金に提供したり、医療・介護のデータベースから個人情報照合（連結解析）を可能にする「仮名化情報」の導入など、患者・市民のプライバシーに関わる改正がされようとしています。

マイナ保険証のシステムを拡充して作ろうとしている「全国医療情報プラットフォーム」など、医療DXの問題点を考えます。